

～ News Release ～

“ITによって日本酒の希少性を楽しんでいただく”
顧客体験価値向上のための「開封カウンターサービス」を提供開始

2022年11月16日
高桑美術印刷株式会社

高桑美術印刷株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：高桑 悟史、以下 高桑美術印刷）は、対象となる商品に貼付された NFC タグの読取りによる、「開封カウンターサービス」の提供を開始いたしました。

このたび、高桑美術印刷は本サービスの提供を開始し、株式会社高橋商店（本社：福岡県八女市、代表取締役社長：中川 拓也、以下 高橋商店）が、2022年9月に発表し同11月に発売した「繁樹 純米大吟醸 10（200本限定）」において、初めて採用されました。

「開封カウンターサービス」とは、購入者消費者向けのもので商品の瓶ネック部分に貼付した、NFC（近距離無線通信）技術による「開封検知タグ」をスマートフォンで読み取り、ネットワークを通じて専用サービスにアクセスをすることで、商品の希少価値を高めるための情報配信を可能とするものです。開封検知タグを購入者消費者も含めて情報を共有できるツールとして活用する、日本国内では初の事例です。（自社調べに基づく）

当該商品における購入者消費者向けの専用サービスの機能は以下となります。

- ①開封済・未開封の確認（空瓶利用の偽造品対策）
- ②開封済本数、開封順の把握（限定本数を対象に）
- ③開封地点の情報共有（スマートフォンの位置情報による）
- ④高橋商店の歴史・こだわり・商品について（ブランド情報発信）

これまでは限定発売の商品を購入しても、せっかくの希少価値はごく限られた範囲でしか共有することができませんでした。本サービスを利用することによって、購入者消費者同士が商品の開封状況を共有し、その希少価値も共有することによって、より商品を楽しんでいただく新たな顧客体験に結びつくものと考えています。

高桑美術印刷では今後の評価を見極めながら、NFC タグの新たな機能も含めたさらなる展開について可能性を検討していきます。



「繁樹 純米大吟醸 10」の開封検知タグ

実際の使用イメージをあらわします。



開封時に断線情報を NFC タグに書き込み



NFC 対応スマートフォンで開封状態を検知



専用サービスにアクセス

【本リリースに関するお問い合わせ先】
高桑美術印刷株式会社 担当：商品開発部・三納
電話：076-277-8660
(高橋商店への直接問合せはお控え下さい)

《 参考資料 》

■ 「繁樹 純米大吟醸 10・開封カウンターサービス」 画面構成



■ 高桑美術印刷株式会社

所在地：石川県金沢市泉本町5丁目27番地

代表者：代表取締役社長 高桑 悟史

事業内容：酒類食品のラベル・パッケージ及び各種商業印刷、デザイン・ホームページや映像コンテンツの企画制作、自動認識ソリューション企画

<https://takakuwa.wave.jp/>